

2005.7.25

コメント：真空パックされたレーダーシグナルフロートに寄せて

このたび、レーダーシグナルフロートを製造販売している興亜化工から、この夏に新しい発想で普及型のレーダーシグナルフロートが販売されます。NPO沖縄県ダイビング安全対策協議会（略称：安対協）では、会員のガイドに推奨装備品の一つとしています。安対協では、公的な海洋での救助機関として海上保安庁と民間ガイドダイバーとの合同のダイビング事故対策訓練を行っています。この訓練に際しては、実際にダイバーの漂流事故想定でレーダーシグナルフロートを掲げて巡視船艇や捜索機からの視認性やレーダー捜索等も織り交ぜて訓練を行っています。現場のガイドダイバーからも装備することで安心感があるとの声を聞いています。

今回は、真空包装でパッケージ化された製品です。イザというときにBCから取り出してオクトパスレギから空気をフロート内に送り込み、膨らませて使用することになります。旧来型では海水がしみこんでおり、内部でカビが発生したこともあった。また、ダイビングツアーで器材を携行する際に、海水が滲み出たこともありました。それらを改善した商品としてメンテナンスフリーの小型軽量、しかもフロート内部にレーダー反射材が装備されているためにレーダーでの捜索も可能となったのです。イザという最悪の状況下でも二重三重の性能で捜索勢力へのアピールができる製品であると考えます。これは心強いです。

ガイドダイバーだけでなく、一般ダイバーの方にもセルフダイビングする際に携行することをお勧めいたします。

NPO沖縄県ダイビング安全対策協議会 会長 村田 幸雄